



2007年4月2日

～ オンライン証券初！ ラッセル・インベストメント運用投信 取扱開始～

## 投資信託銘柄追加のお知らせ

楽天グループのインターネット・トレーディング専門の証券会社、楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都港区）は、4月2日（月）約定分より、投資信託3銘柄を取扱い銘柄に追加いたします。今回の追加により、当社取扱い投資信託の銘柄数は75銘柄となります。

また、当社では1月29日（月）～4月27日（金）15：00までの期間中に楽天証券が指定する投資信託をお買い付けいただいたお客様の中から毎月抽選で50名様に楽天証券ポイント10,000ポイントをプレゼントする「投資信託ビッグチャンスキャンペーン」を実施いたしております。当該銘柄は、キャンペーン該当商品に追加されます。

### 背景と目的・狙い

国内の低金利の影響で、個人マネーが海外に向かう傾向は当面続くなか、外貨建て資産を保有する個人投資家が、より高いリターンを求めて、預金から投資信託へと資金をシフトすると考えられる動きを強めています。

日銀の統計によると、2007年1月時点の外貨預金残高（居住者ベース）は6兆5,957億円で、前年同月に比べ8.8%減少しています。（18ヶ月連続で前年同月比減少）一方、投資信託協会によると、外貨建て投信の純資産残高は2007年2月末時点で29兆5,643億円。前年同月比42%増となっています。

この流れを受け、当社においても外貨建て投信の取扱いのラインナップの充実を図るべく、今回、オンライン証券初となるラッセル・インベストメント証券投信投資顧問の「ラッセル外国株式マルチ・マネージャー・ファンド」を取扱い銘柄に追加することといたしました。

また、同投信投資顧問の「ラッセル日本株式マルチ・マネージャー・ファンド」および、「DIAM J-REIT オープン・毎月決算」も同時に取扱いを開始いたします。

### 各投資信託の特徴について

「ラッセル外国株式マルチ・マネージャー・ファンド 愛称：ワールド・エキスパート」

- ・ 日本を除く世界先進各国の市場において取引されている株式に投資します。
- ・ MSCI KOKUSAI をベンチマークとします。

（設定・運用 ラッセル・インベストメント証券投信投資顧問株式会社）

「ラッセル日本株式マルチ・マネージャー・ファンド 愛称：匠の輪」

- ・ 国内の証券取引所に上場されている株式に投資します。TOPIX をベンチマークとします。

（設定・運用 ラッセル・インベストメント証券投信投資顧問株式会社）

「DIAM J-REIT オープン・毎月決算 愛称：オーナーズインカム」

- ・ DIAM J-REIT オープン・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主に日本の不動産投資信託証券に投資を行います。

（設定・運用 興銀第一ライフアセットマネジメント株式会社）